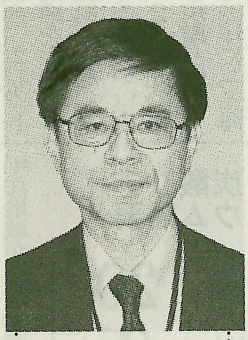
エンジニア教育で若手にモデリング基礎を教え込む

パーソン

企業ニーズにもきめ細かく



PreFEED
社長
熊谷 善夫 氏

「若手のエンジニア教育がこれからますます重要になる」と指摘するのは、PreFEED（プレフィード）の熊谷善夫社長。「欧米からの技術導入でスタートしたわが国の石油・化学産業は、近年の国際競争のなかで、技術開発を中心とした特殊化志向に拍車をかけている。それにともない、エンジニアに求められるスキルが変化してきた」と述べる。

かつては導入した技術を確実に具体化することが最重要で、プラントの厳密計算を行い、安定した生産を実現するために運転の最適化や制御をすることがエンジニアの主要な役割だったという。しかし、現在では基礎研究を行い、ベンチ実験からパイロット実験を経て、商業生産に向けての実際的なプロセス案を検討することが主軸となりつつある。

とくに、医薬や食品、特殊化学品分野では、データがないなどの理由で既存のシミュレーションソフトでは、うまく扱えないケースが多く「エンジニアとして、モデリングの基礎を理解していることが絶対に必要」だと強調する。

「データをモデル化してはじめて、さまざまな現象が理解できる。それによって、プロセスの改善法やトラブルの予測、重要な設計因子などがわかってくる。また、モデル化を考えることで、逆にどんなデータが必要かも明確になる」と熊谷社長。

同社は、エンジニア教育を提供する特異なベンダーで、オンサイトやeラーニングも含めて企業ごとのニーズにもきめ細かく対応。社内の教育体系に同社のサービスを組み込む企業が増え、ますます評判を呼んでいるということだ。

化学工業日報
2012年（平成24年）3月13日（火曜日）